

平和憲法を守り、市民の生命をまもれ 平林ちえみ議員



問 先の国会で、アメリカの戦争に国民を動員する国民保護法などを含む有事関連法が強行採決された。

有事法で自治体は、市営バスなどの提供、公立病院の利用など膨大な戦争業務を強制させられる事になる。住民の

福祉の増進をはかる、という地方自治体本来の仕事に反する。市民の生命と財産をいかに守っていくかという市長の姿勢がとわれているが。

市長 市民第一に行動すべきであり、守る立場から事前の計画、準備をしていく。

問 日本国憲法の9条は戦争を永久に放棄し、国際紛争を解決する手段として武力の行使も威嚇も行わないことを宣言している。この精神のもと、旧6町で宣言されていた「非核自治体宣



言」を京丹後市としても宣言し平和の取り組みを強化すべき。

市長 憲法前文の平和を尊重する日本のすばらしい精神を世界に発信していくことは当然のこと。どう表現していくかは研究する。

◆◆乳幼児医療費無料化制度の改善をすべき◆◆

問 合併の目玉だと宣伝されてきた高校卒業までの医療費の無料化が、今議会の提案では小学校卒業までとなっている。

合併協議の最大の目玉として住民に約束したことであり納得がいかない。

市長 きびしい財政の中でも前向きに提案した。今後様子を見ていきたい。

問 今回の制度は、医療費の全額を窓口で支払い、申請をして受け取る方法となっており負担も大きく不便なやり方になっている。

市長 子育てをがんばろうという確認のため必要である。

久美浜原発に対する考えは 松田せいけい議員



問 久美浜原発に対する市長の基本的な考えは。

市長 国の政策は、否定はしない。しかし、久美浜への立地は環境と調和したまわりを目指す立場からは、なじまないのではないかと。学習はさせていただく。もう一つ真剣に受け止めなければいけないのは、

久美浜町議会で何度も推進決議がなされてきたということ。その真意は地域振興であり、まちづくりの願いだと思うが、きちんと受け止めて、誠心誠意対応していく。

問 推進を前提とした交付金は申請すべきでない。

市長 これまでの経緯を踏まえ、立地をした場合の影響はどうかという趣旨で申請した。

◆◆市バスの全市域運行とマイクロバスの活用◆◆

問 市営バスについて、採算がとれないからこそ自治体が必要がある。市全域でも要望が強い。これを広げる方向で検討してほしい。

市長 採算がとれないからやめるという発想はない。財政が厳しくてもどんな工夫ができるかということでやらないといけない。検討をしたい。

問 これまで、障害者団体などに貸し出されていた町のマイクロバスが4月から貸してもらえなくなったのはなぜか。

総務部長 合併協議の内容を重視した運営をしている。今後検討すべきだと思う。



中小業者への融資制度の創設と市民アンケート調査の実施を 森 まさる議員



問 市における業者への支援は大事と考えている。とりわけ世帯に占める業者比率は28%であり、府内の市の5%~10%と比べて極めて高い比率だ。それだけに業者への支援が大事である。市長も所信表明で金融による支援をしていくと言っているが、融資制度を創設していく考えはないか。

市長 今まで各町にあったバラバラの融資制度をどうするか協議している。

問 今、金融機関の貸し渋りがひどく、また、貸し付けをすれば保証協会付きを要求している。こうしたことから見ても直ちに創設が必要であると考えます。また、



市民の暮らしを応援する施策実施のためにも、全職員が市民宅を訪問して、アンケート調査をやってはどうか。

市長 今、直ちにということは、職員の負担もありどうかと思う。

◆◆銚子山古墳整備は新市としてもやるのか◆◆

問 旧網野町では今年3月銚子山古墳整備検討委員会の、基本構想がまとまったが、新市においても引き続きやっていくのか。

銚子山入口にむけての道路の測量・設計として650万円の予算が計上されているが、銚子山整備と関連した予算か。

市長 銚子山古墳は日本海側最大のものであり、丹後の誇れるものである。観光も含め、心のよりどころとしての拠点ともなるようにしていきたい。

建設部長 650万円の予算は、銚子山整備構想の一貫と思っている。